

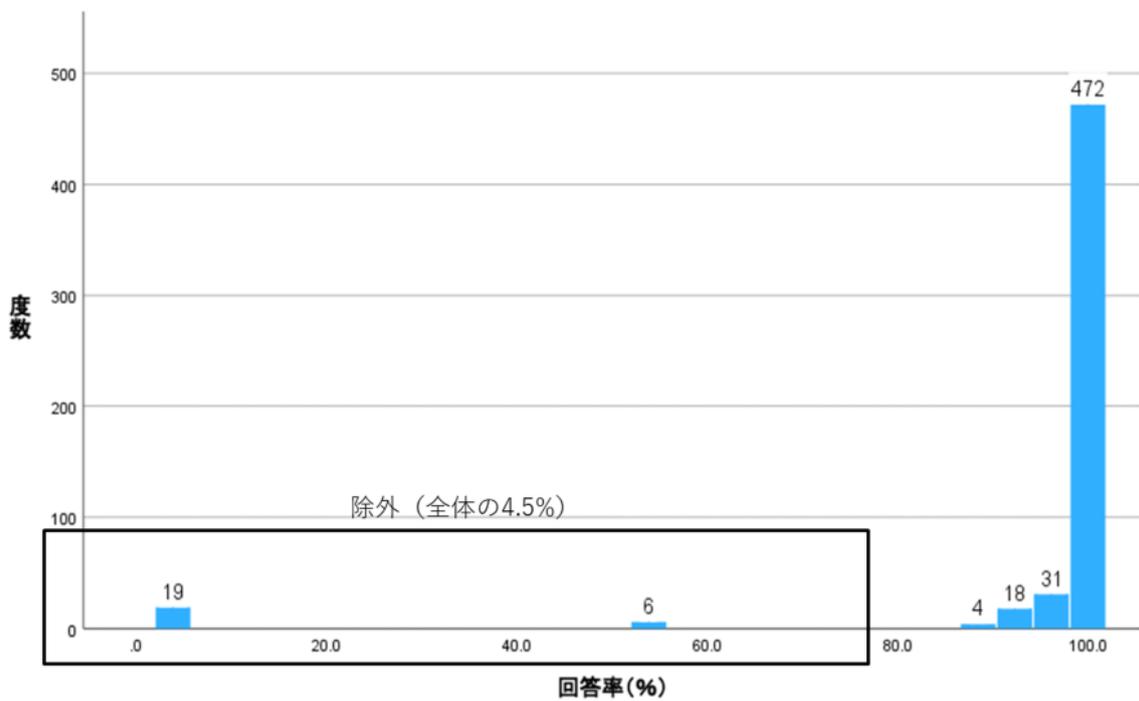
2023 年度 卒業生アンケート  
「東京女子大学の教育ならびに卒業生の就業状況に関する調査」  
集計結果報告

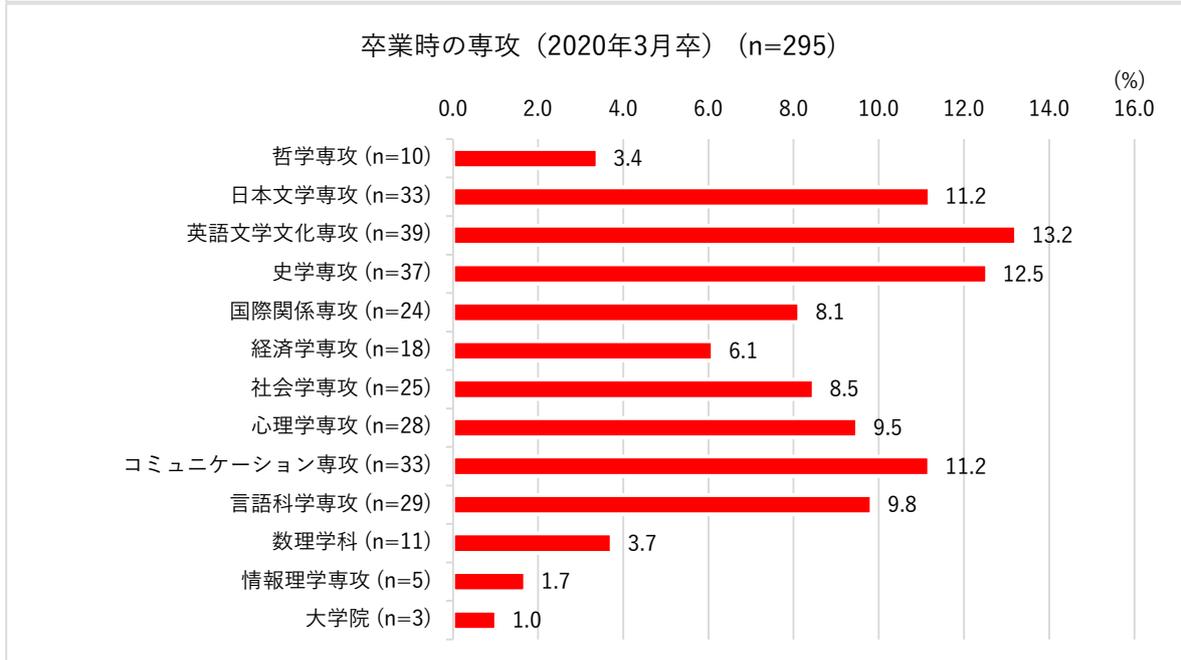
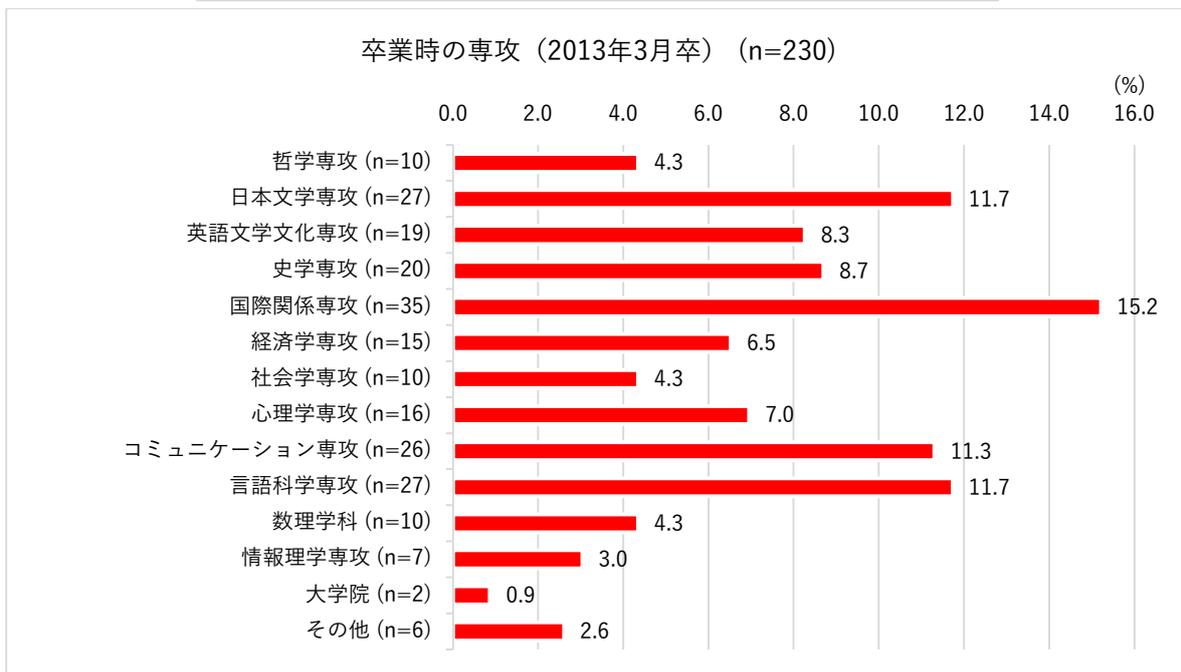
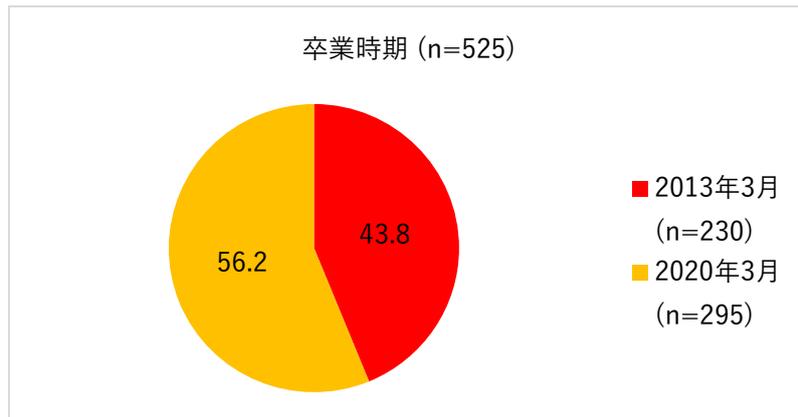
2024 年 7 月  
東京女子大学 自己点検・評価委員会

## 調査概要

- ・ 目的：卒業生を対象に、本学での学修の成果や卒業後の就業状況について尋ね、今後の教育の向上や改善につなげていく
- ・ 方法：Web 調査
- ・ 調査対象者：1,646名（内訳：2013年3月卒722名、2020年3月卒924名）
- ・ 調査実施期間：2023年12月25日～2024年1月30日
- ・ 回答者
- ・ 有効回答者数：525名（内訳：2013年3月卒230名、2020年3月卒295名）
  - 重複回答（10名）を除外
  - 有効回答率が8割未満のもの（25名）を除外（図1）
- ・ 有効回答者数：31.9%

図1 2023年度卒業生調査(有効回答分布)

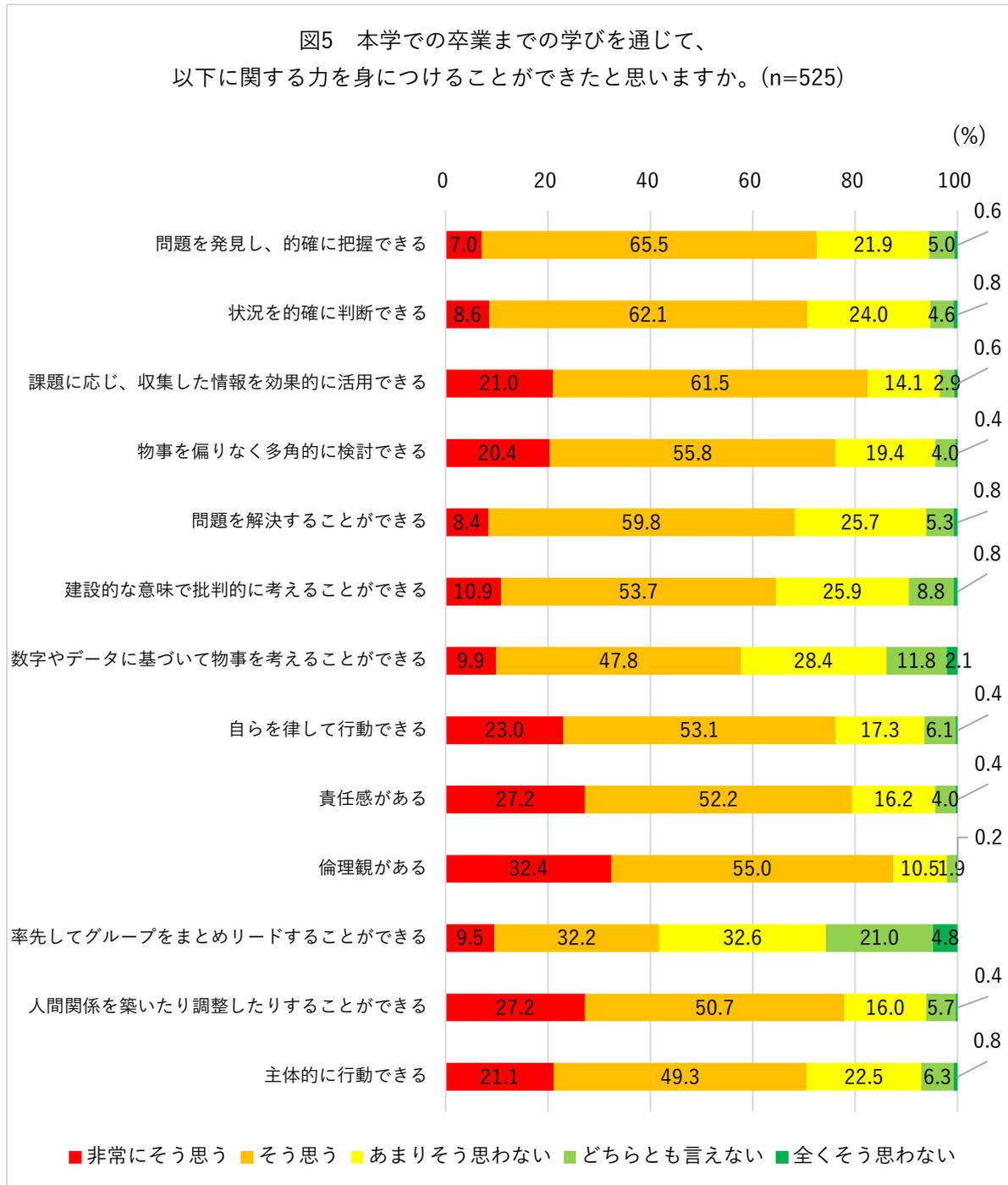




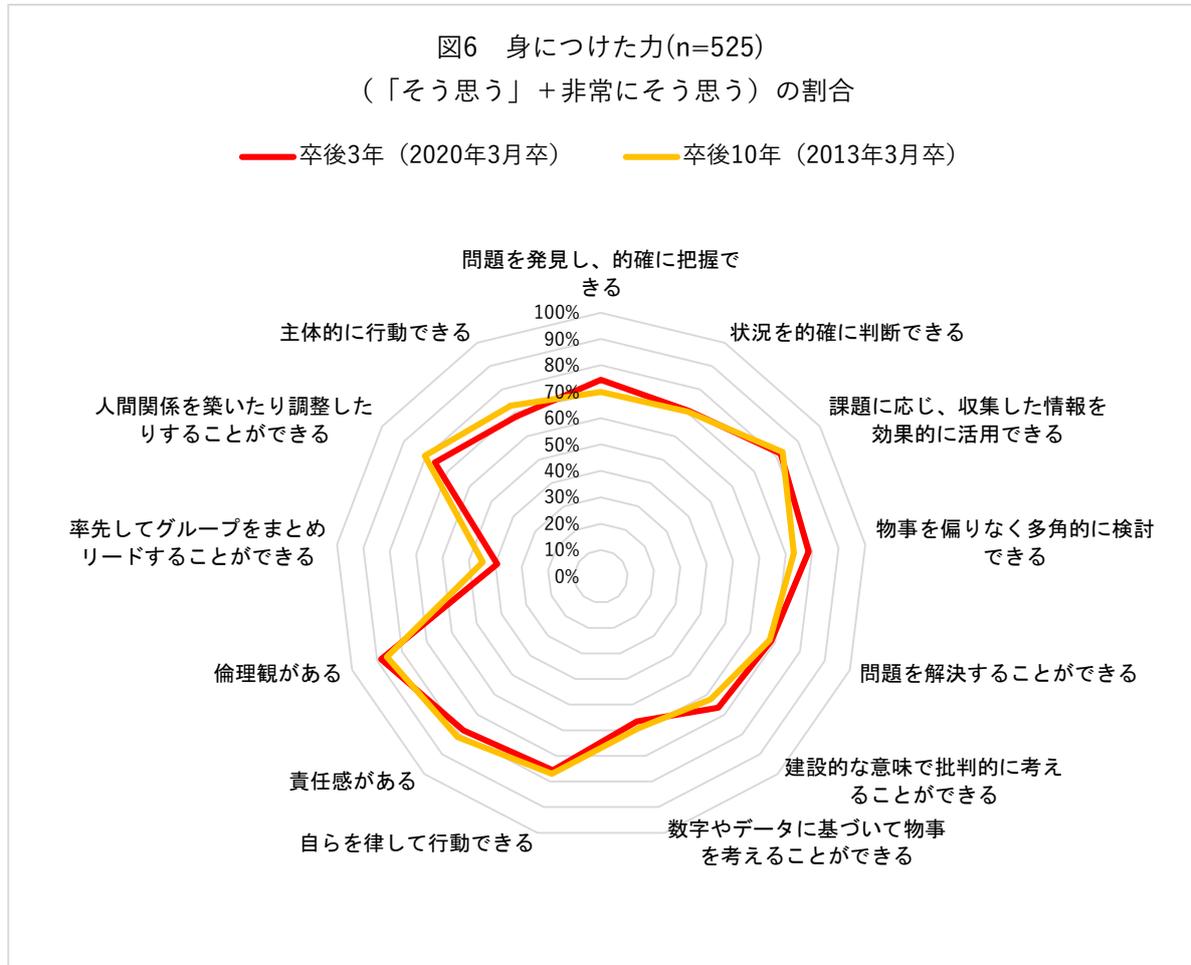
# 調査結果

## 1. 身につけることができたと思う力・スキルについて

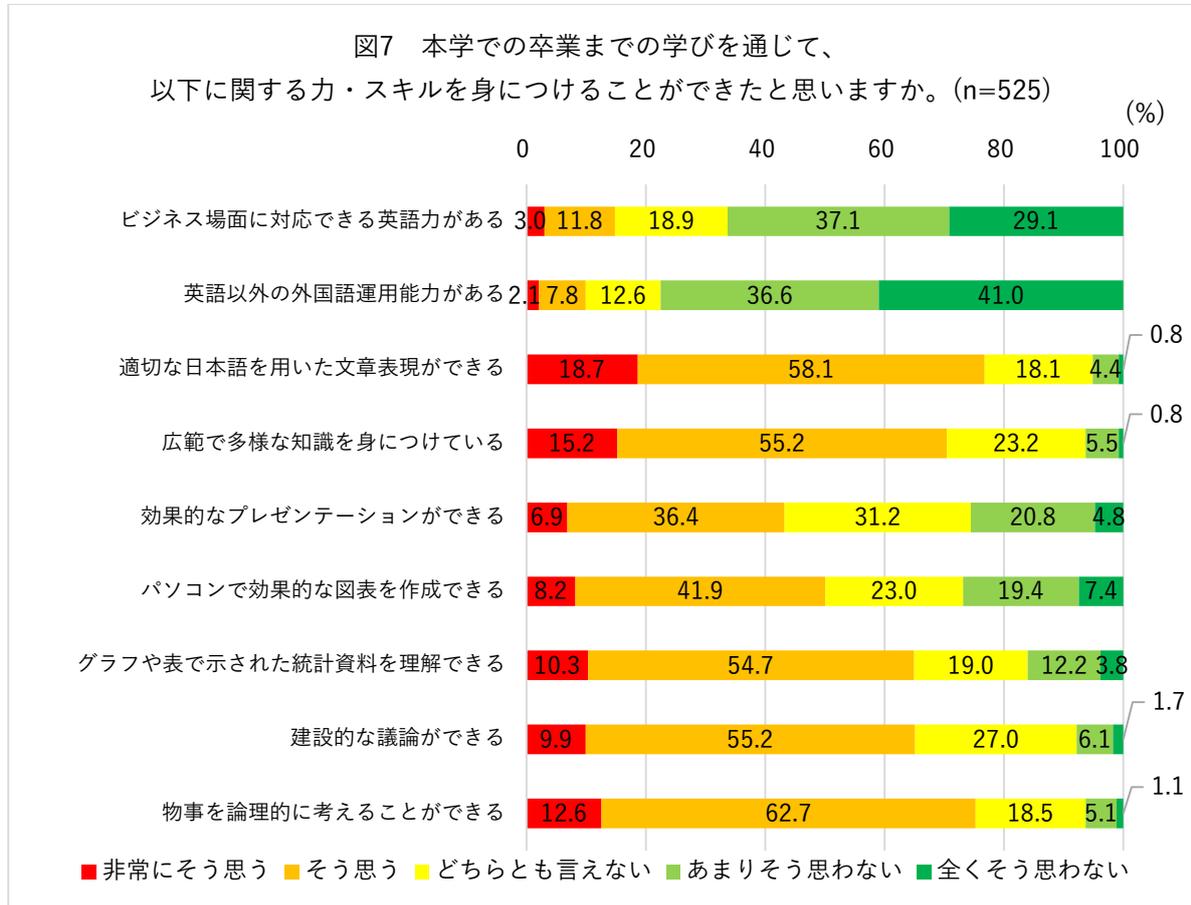
「身につけることができたと思う力」について尋ねた結果を図5に示す。「数字やデータに基づいて物事を考えることができる」「率先してグループをまとめリードすることができる」以外の項目で、肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が6割を超えた。例年と同様、「倫理観がある」が最も高くなった。



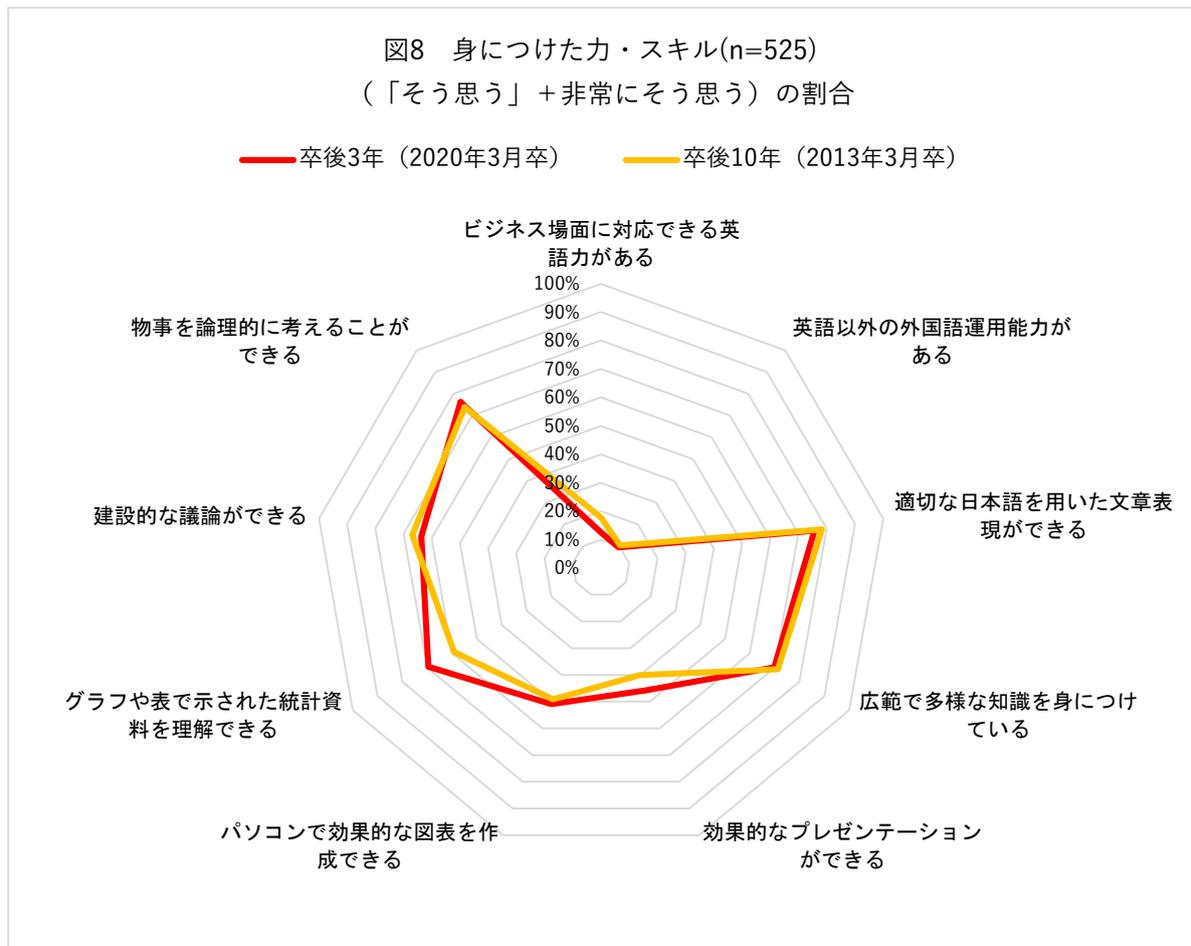
卒業年別で傾向を比較するため、「身につけることができたと思う力」の肯定的な回答の割合のレーダーチャートを作成した(図6)。「問題を発見し、的確に把握できる」「物事を偏りなく多角的に検討できる」「建設的な意味で批判的に考えることができる」は2020年3月卒の卒業生が、「率先してグループをまとめリードすることができる」「人間関係を築いたり調整したりすることができる」「主体的に行動できる」は2013年3月卒の卒業生が高い傾向にあった。



「身につけることができたと思う力・スキル」について尋ねた結果を図7に示す。「適切な日本語を用いた文章表現ができる」「広範で多様な知識を身につけている」「グラフや表で示された統計資料を理解できる」「建設的な議論ができる」「物事を論理的に考えることができる」で肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が高く、6割を超えた。



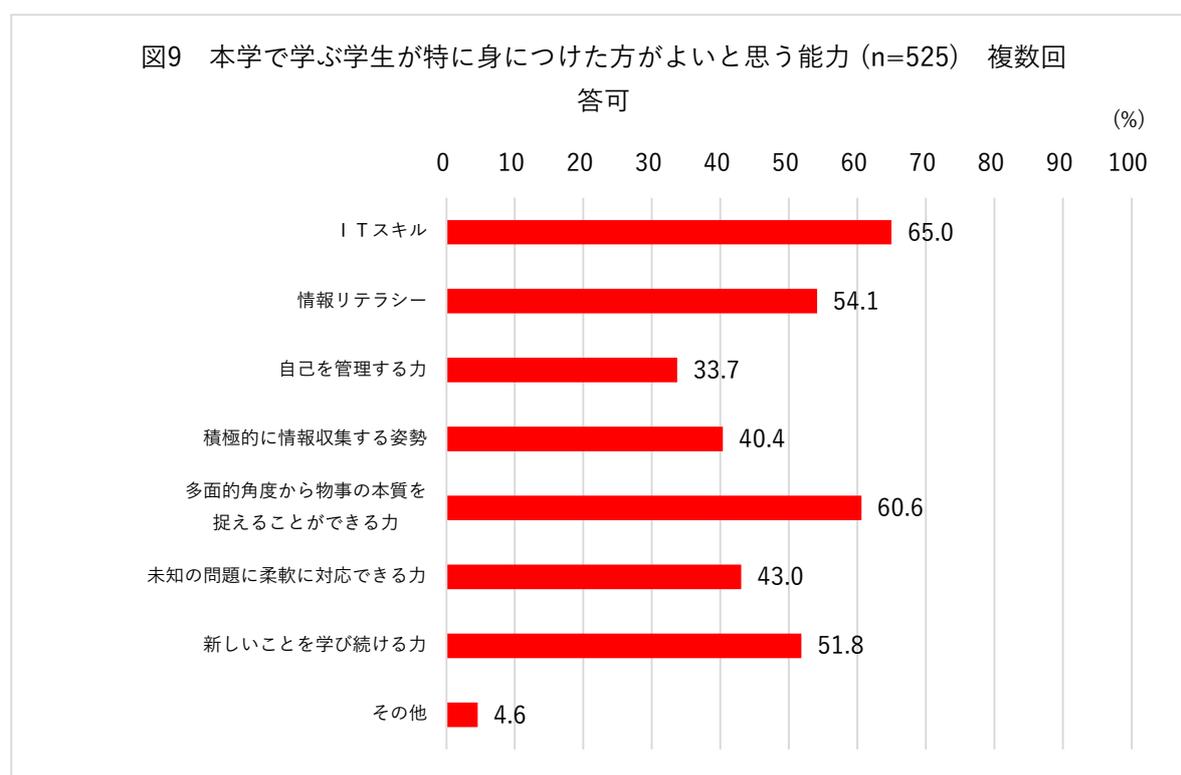
「身につけることができたと思う力・スキル」も卒業年別で傾向を比較するため、肯定的な回答の割合でレーダーチャートを作成した（図8）。「効果的なプレゼンテーションができる」「グラフや表で示された統計資料を理解できる」「物事を論理的に考えることができる」は2020年3月卒の卒業生が、「ビジネス場面に対応できる英語力がある」「適切な日本語を用いた文章表現ができる」は2013年3月卒の卒業生が高い傾向にあった。特に、「グラフや表で示された統計資料を理解できる」では10ポイント以上の大きな差があった。



## 2. 身につけたほうがよいと思う能力

「本学で学ぶ学生が特に身につけたほうがよいと思う能力」について尋ねた結果を図9に示す。

「ITスキル」「情報リテラシー」「多角的角度から物事の本質を捉えることができる力」「新しいことを学び続ける力」の項目では、5割以上が身につけたほうがよいと回答した。データサイエンスに関する回答は例年、上位に食い込んでおり、職種に関わらず、社会人として業務を遂行する上で重要なスキルであることが伺える。



### 「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

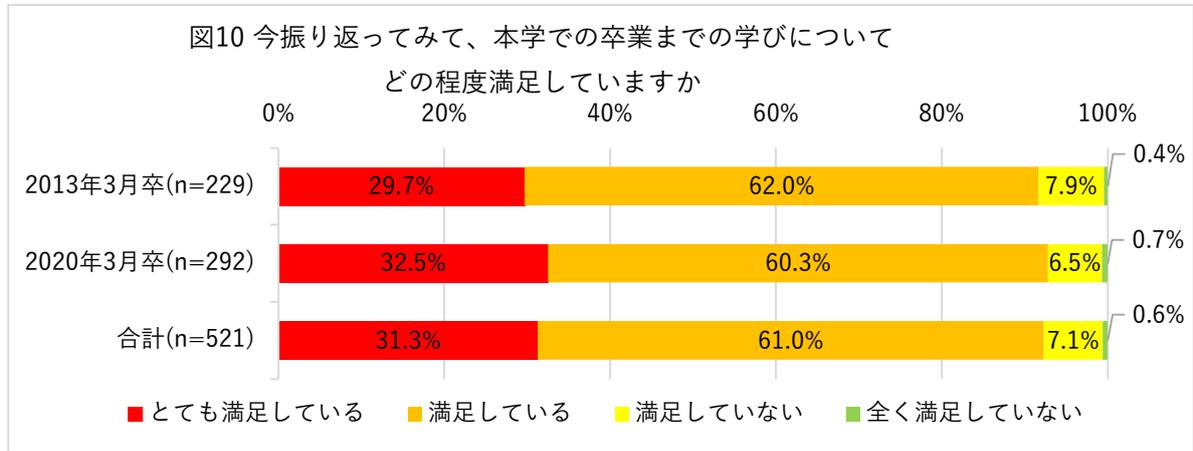
- ・ 語学力 (n=3)
- ・ 英語力 (n=2)
- ・ 日本語を話せない人とでもコミュニケーションをとる力
- ・ コミュニケーション能力 (様々な立場の人と分け隔てなく接し、話し何出来る能力)
- ・ コミュニケーション力
- ・ 多様な人と出会い、相互理解に努める力
- ・ 自分の考えを簡潔にわかりやすく伝える力
- ・ 人の考えを聞いて意見する力
- ・ 世界で起こる出来事に対して自分で考え自分の意見を述べる能力
- ・ 人との交渉力
- ・ 全てを自分で抱え込まず、必要な時には他者に相談することで物事を解決できる
- ・ プレゼンテーション能力

- ・ 主体性
- ・ 興味を持ったことや未知の物事へ挑戦する力（留学でもインターンシップでもなんでもいいです。行動力は大事）。
- ・ 前例に囚われないフレキシブルな力
- ・ 優しく多様性を受け入れる教養があるが、保守的な学生が多いと感じる
- ・ 物事に道筋立てて効率的にやり抜く力
- ・ 問題解決能力
- ・ 情報収集を行うための知識
- ・ リーガルリテラシー、金融知識
- ・ 社会人としてのマナー

など

### 3. 本学での学修に対する満足度

「本学での卒業までの学びについてどの程度満足していますか。」と尋ねた所、図 10 の結果となった。肯定的な回答（「とても満足している」「満足している」）の割合が 2013 年 3 月卒・2020 年 3 月卒共に 9 割を超えた。



#### 4. 本学の教育成果

##### リベラルアーツ教育

「本学は『専門性を持つ教養人』を育成すべくリベラルアーツ教育を行っていますが、卒業後にどのように活かされているでしょうか。」に対する自由記述を「肯定的」「否定的」「肯定的+否定的」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。

##### 肯定的 (n=138)

あらゆる分野に興味関心を持たおかげで、仕事以外でも学び続ける楽しさを持続させることができている。また教員として、生徒に知識としての勉強ではなく教養として人間力を高めるための勉強の大切さを伝えることができている。
いろいろ分野から物事を捉える姿勢が役立っていると思う。
いろんな業種と関わる職種のため、様々な基本的な知識が役立っている。
インテリアデザインの仕事をしています。史学科で身につけた、物事を関連づける力、概念化する力が活かされていると思います。
キャリア・イングリッシュ課程でのビジネスに特化した英語力は、英語会議や会話に役立っていると感じる。
グラフや表の読み取りは資料を作るのに役に立っている。
さまざまな人と関わる仕事なので大学で幅広い知識を身に付けたことで会話などのやりとりに活かされている。
さまざまな知識を応用して仕事に活用できています。
私は新卒で日本語教師になりましたが大学で学んだことがそのまま役に立っています。
ジェンダー副専攻を当時受講していて、学部学科横断的にジェンダーの視点から様々な学問を学べたことは、自身にとってライフイベントの変化や節目節目のタイミングで物事判断する上で非常に役に経っていると感じている。
たくさんすることに興味を持てる。
どんな状況下でも、多様な人間関係の構築ができ、相手に共感しつつ議論ができる。
リベラルアーツという教育方針を導入した東京女子大に今でも感謝しています。物事を分析するときに、必ずしも答えは一面から見ただけでは導かないことを体感できるカリキュラムで、楽しく学べたことが今でも良い思い出です。
リベラルアーツ教育のもと、幅広い視野を持った学びを通し、物事を幅広く捉える意識持つことが養われたと感じています。だからこそ、広い視野を持ち考えることができると感じます。
わたしの業種は特殊で、他業種への理解・知識がない人が多いが、その人たちに流されずに過ごすことができている。
意見を言うときに物事を様々な視点から見ている。
一つのことだけでなく幅広い視野がもてる。
一般的な教養が身に付いているので会話等に困ることがない。

<p>営業職として多様な顧客と関係を築く際に、幅広い分野を学んだ経験と専門性を身につけた自信が活かされていると感じる。</p> <p>営業職に就いたが、教養を学んだことで興味の幅が広がり、対人関係で役立っていると感じる。</p>
<p>英語話者との接客や、ミーティングでの話し方（結論から話すことなど）。また、HTMLのクラスをとっていたことが、キャリア形成に役立っています。</p>
<p>会議、資料から要点を素早く見だし、計画性をもって物事を解決へと導ける。</p>
<p>海外で初対面の外国の方と話す際に、あらゆる角度から物の見方を考えて話す力が役立ちました。</p> <p>外国語学習、日本語教員養成課程を経験したことでさまざまな価値観を知ることができました。</p> <p>現在公務員として勤務する中で大変貴重な学習ができたと考えています。</p>
<p>学んだ専門性はあまり使った仕事はしていないが、色んな分野の学びができた事で視野が広がった。</p>
<p>学科によっては学んだ内容と仕事内容がマッチしており、社会に出て即戦力になれていると思う。</p>
<p>学生時代に学んだ教養を社会人になってからビジネスで知り合った人との人間関係構築に役立つことができました。</p>
<p>関心のある話題について情報収集ができること。</p>
<p>記者権広告営業として活字を仕事にしていた際に、とても生きていました。</p>
<p>共通科目で、様々な分野の学びを深めることができ、それが時折卒業後も役立っています。</p>
<p>教員としての生徒との接し方。</p>
<p>興味範囲を広げること。</p>
<p>現在、中学校社会科の教員として働いていますが、教育活動の様々な場面で活かされていると思います。</p>
<p>現在の仕事は営業をしており、年齢の異なる様々な業種の方々と関わるが、本学で幅広く教養を身につけたことで、どんなひととも、それなりに会話できる。</p>
<p>現在教員をやっているため、自分の専門分野以外の知識も様々な場面で必要になることが多いので、幅広く学んだ経験を話すことができる。</p>
<p>現在日本や世界で起きていることについて、ニュース等で目にした時に、予備知識がある内容だと興味を持ってアンテナを張れるようになった。</p>
<p>言葉に対する好奇心や知識を、サービス業の接遇面に活かすことができている。卒業後も学びを深めている。</p>
<p>広く学ぶ姿勢が身についたと思う。</p>
<p>今起こっている出来事に対して、理解するために必要な情報を自分で集めることができる。</p>
<p>最後までやり抜く力、まずは自分で考え抜く力、真面目であること、誠実であること。専攻での学びによる専門性はもちろんのこと、社会人として周囲への貢献を考えながら、自己に責任を持って行動するための学びができたと考えています。すぐにではなくとも、社会に出て数年経ってから、東女での学びが再び芽生える気がしています。</p>

<p>在学中、副専攻としてキリスト教を学び、卒業後も聖書やキリスト教関係の勉強へのモチベーションに繋がっていると思います。</p>
<p>在学中に気づいた自身の専門を深め、生かしながらも専門領域に留まらないことの重要性や、在学中の経験から得た、他領域とつながることができる、未知の世界に挑戦することができるという自信が、卒後の可能性を広げ、人生を豊かにしてくれているという実感があります。</p>
<p>在学中に得た知識を活かして情報収集できる。</p>
<p>仕事では顧客との会話の際に、東女で学んだ幅広い知識が役立っており、私生活では国内・海外旅行に行った時に大学時代に学んだ人文学科で学んだ哲学、英語、歴史が役立って、真面目に勉強してよかったと心から思った。</p>
<p>仕事で直接的に活かされているわけではないが、日々の生活において物事を深く理解し、豊かにしていくことに活かされていると感じる。</p>
<p>仕事においても専門性を深めて、前例のない分野に挑戦できている</p>
<p>仕事を進行していく中で問題や案件に対して多角的に物事を見る姿勢を活かしている。</p>
<p>仕事上でも、私生活上でも多角的に物事を捉えることができます。</p>
<p>私の現在の仕事では、お客様との会話から課題を見つけることが求められています。ただ知識をつけるだけでなく、それを活用する方法を大学で学び、今に活かしていると思います。</p>
<p>視野の広さ。</p>
<p>視野を広く落ち着いて物事を判断できる土台になっていると思います。</p>
<p>視野を広げて、さまざまなものの考え方を理解しながら仕事の問題解決に向けて話すことができた。</p>
<p>自身にとっては中高大学と女子校でのびのび主体的に活動できたことは、その後もひとりの人として男性と対等な（はずの）ポジションで働く糧になった。一方で、大学に入る以前から地方などで女性差別を受けてきた同窓生が大学生活を経ても男性に忖度して女性蔑視を内在化したままだったのが残念。</p>
<p>自身の専攻や関心事以外のことを新たに学んだり情報収集する際に、広い分野を学ぶリベラルアーツ教育は役立っているように思います。</p>
<p>自身の専攻を詳しく学ぶ上で、別の専攻やさまざまな教養を学ぶことが必要であると考え。そのことにより、自他的に物事を捉え、何がこの場において正しいかを判断することに活かせる。</p>
<p>自身の専攻以外の授業を気軽に受けられることで、幅広い教養が身につく、出来事や創作物を多角的な視点から見るようになるようになったと思います。</p>
<p>自身の専門性だけに捉われず、幅広く学ぶ姿勢を持つこと。</p>
<p>自身の専門性を持って、キャリア選択の際に、視野の広さと視座の高さに繋がっている。</p>
<p>自専攻以外の他学科の講義を受けることが必修であり、広く知識を身につけられました。何か検討する際に多角的な視点から見て、問題の把握や状況の整理をすることができていると思います。</p>

<p>自専攻科目を中心に学びつつ、様々な分野の学習もさせていただいたことで、会話の引き出しが増えたと思います。</p> <p>自分の興味がある分野だけでなく、他者を理解し関わっていく上で大切な学びとなっていると思います。</p>
<p>自分の専門だけでなく、幅広く知識を身につけることができたので、専門でない分野の仕事でも基礎知識がありゼロスタートではなく始めることができる。</p>
<p>自分の専門以外の分野についても幅広く学べたことが「様々なことに興味を持つ」ことにつながっていて、文化や背景が異なる方と仕事をするときに活かされている気がします。</p>
<p>自分の知らない立場や状況への興味や理解しようとする姿勢が持てるようになったことは、社会人として社内の人間関係やお客様対応などの人間関係の維持や、社会情勢の理解などに役立っていると思う。</p>
<p>自立した女性として生きる為に必要な事は何か意識して仕事をしている。</p>
<p>社会では答えのない問題に直面することが多いので、なるべく多方面から物事を見て理解しようと心掛けています。</p>
<p>社会に出てからの方が、新しい事を学び続ける機会が多いので、大学でさまざまな分野を学ぶのがいい経験だった。</p>
<p>社会に出て色々な立場の人と交流する時に、東京女子で学んだ多面的な考え方が活かされていると感じます。</p>
<p>社会に出て様々な文化立場の方とコミュニケーションを取るとき。</p>
<p>社会に出ると、自分とは全く異なる背景を持った、年代や性別の人々と多く出会うようになる。どのような立場の人でも、理解しようと努める姿勢は、リベラルアーツによって多様な考え方を学ぶことで身についたのではと感じている。</p>
<p>社会人として当たり前の気遣いや感覚が身についた。</p>
<p>社会人になると、自分の専門内容以外にも包括的に学ばないと業務が捗らないことが多くあり、リベラルアーツで様々なことに触れて挑戦できる環境はとても良かったと感じる。</p>
<p>社会問題を考える際や身近なことに対しても知識を活用し考えることができました。</p>
<p>取得した資格を活かした職業につくことができた。</p>
<p>受験時に選んだ専攻だけでなく幅広い学びを受けられる環境にいたことで、社会人になってからも畑違いの分野だから～等と言いつつ学ばない姿勢は残ったとおもう。</p>
<p>就職したあと学び直しの方向性の基盤になっている。様々な分野の授業を受講できたことで、自分の進路選択の視野が広がりました。</p>
<p>就職後はずっと同じ財務部に所属しながら3つの専門性の高い業務に従事してきました。全て異なる分野ですが、それぞれの経験を活かして、業務の繋がりを意識して日々の仕事を行なっています。少数精鋭で会社の資金管理を行なっているという誇りを持って業務に従事しています。</p>
<p>就職先にて専門的に学んだ知識を活かし、意見を述べる事ができている。</p>
<p>就職先の範囲がとらわれない。社会人になっても日常的に学ぶ姿勢が損なわれない。</p>

就職先は専攻分野と直接関係のある職種ではない仕事でしたが、多方面に知識の基礎があることでさまざまな分野に興味関心を抱きやすく自ら学びつづける姿勢が自然と身につけており、多面的に状況や問題を捉えることができるようになったと感じています。
女性の活躍について、偏った意見をもつことなく正しく学ぶことができ、その上で自身も一人の女性として活躍していきたいと考えることができた。
女性の社会課題や育児などについては深く学べたので、女性として社会で生きていくうえでの心構えや教養が身に着いたと感じる。
職場環境および担当する業務の変化に柔軟に対応できる。
色々な視点から意見ができる。幅広い知識を根拠に勉強できる。
色々なことに挑戦すること。
心理学専門の道には進まなかったのが職業に直接的に役に立っているわけではないが、日常の中で専門的な知識が役立つことは多い。
新卒で入社した会社には東京女子大学出身の先輩方が多くいらっしゃいました。物腰が柔らかく聡明な方ばかりで、受け身ではなくいつも主体的に上司へも対等に意見を出して高め合う姿が印象的でした。どの環境にいても常に学ぶ姿勢を持ち続けて専門性を身に付けているところが活かされているのだと感じております。
接客業なので、多種多様な人と関わる中、教養や品性を大事にしながら働こうという意識を持つ事が出来ていると思う。
専攻していた分野ではない職業に就いているが、必要最低限の教養を学んだことで、一般教養とビジネスマナーが身についた。
専攻している学科の知識だけでなく、幅広い分野の一般教養が身についたため、あらゆる場面で柔軟な思考ができるようになりました。
専攻分野以外の分野も学ぶことができ、一般教養が身についたことで、ビジネスの場で人と会話する際に役立っている。
専門の日本文学は基礎的な教養であり、研究を通じて膨大な情報の整理と分解、再構築できるよう訓練できたため、プロジェクトマネジメント等仕事に活用している。
専門性にとらわれずに、広い視野で物事を考える視点に関して、仕事を継続するにあたり、役立っていると感じます。
専門性のある仕事に従事している。
専門分野だけでなく、様々な分野の知識に広く触れる機会が得られたため、社会に出て色々な分野出身の方とも会話のきっかけに困らない場面が多かったと感じます。
他者とは違う考え方ができ、その考え方を他者に伝えることができる。
他大の大学院に進学し、現在高校で教員をしています。
多くの必修科目があったので、他の大学と異なり、ふとした場面で知識を役立てながら、色々な側面から見る形で物事に向き合える。

<p>多角的な視点によって、その場で自分の信じる・信じたいことが本当に適切なのかを考える瞬間が持っていると感じています。</p>
<p>多角的な視点をもつこと。</p>
<p>多角的な視点を持ち色々な立場に立って物事を考えることができるようになった。</p>
<p>多角的な視点を持つことや、問題把握からの建設的な議論を学んだ経験から、勤務先の経営に携わる業務や、社外への発信に活かしている。</p>
<p>多角的視点で意見をすることができるため、よく意見を求められるように感じる。</p>
<p>多文化や LGBTQ などの国際問題への理解を深め、ネットやメディアから正しく情報を見極めながら収集し自分の意見を持つこと。</p>
<p>多様に学べる環境であるからこそ、様々な問題を偏見無しに考えることが可能となる。</p>
<p>多様性 LGBTQ について、大学から学んだため、性だけでなく、様々な人の考え方、多様性について考えられるようになりました。</p> <p>女性活躍社会の中で、男性の生きづらさも学んだりできました。</p> <p>他専攻の授業も取れたので、経済学専攻でしたが、日本文学の授業も出たりと楽しかったです。</p>
<p>大学では特に 1.2 年生で広く様々な知識を得られ、3.4 年生で専門性を高めたと記憶しています。広い知識は日常的に、専門的な知識は、ある時突然知っていて良かったと思える場面が多々ありました。特に私は営業なので、様々な知識の引き出しを持てたことで会話力を高めることができましたと思います。</p>
<p>大学の授業で学んだことや先生方から聞いた話を思い出したり、物事の考え方や疑問の持ち方についてのアプローチ方法が身につけられたため、仕事においても課題解決を考える際に役立っていると感じる。</p>
<p>大学院修了後、一度民間企業に就職し、その後公立学校の時間講師となったが、それぞれの現場で、外国人の同僚や ALT との話し合いの中で、英語のスキルの他、文書や情報を分かりやすく論理立てて説明する事に活かされている。</p> <p>また、現在、副業として執筆活動や作詞作曲等の音楽活動を行っているが、その中で、「どのようにオリジナリティを出すか」という論文作成の考え方との根本的な共通点を見出したり、知識としても、大学時代の勉学で得た知識全般を活用したり等、引き出しを増やすのに活かしているように思う。</p>
<p>直接的には活かされていると思えないが、可能性や選択肢を考える際の「思考の幅」に長けているような実感がある。その点において、専攻以外の分野を学んだ意義があった。</p>
<p>通信系の職種ですが、教育課程で学んだことが職場で生きていたり、女性だからといって卑下することなく意見をしたり業務に向き合うことができている。</p>
<p>哲学を通して多様な価値観の受容や多角的に向き合う視点を得て、人間理解や時代で生まれる新しい価値観と向き合う助けになっています。</p>
<p>東京女子大学で培った、様々な分野を積極的に学ぶ姿勢は、社会のニーズにいち早く対応する必要のある政府系金融機関で幅広い分野にアプローチする際の基礎スキルとして活かされている。</p>

統計学はマーケティングで活かせてる。
得た知識を後世に還元しようとする姿勢、常に学び続けようとする姿勢(専門分野に限らず)で仕事に取り組んでいる。
特に東女で学んだ女性学がとても勉強になりました。
日本茶に関するテーマで卒論を書きました。現在は実家で日本茶販売の仕事に従事しています。昨年は県商工会主催のバリでの催事に参加し、日本文化、日本の食文化に興味を持つフランスの状況に接する機会を得ました。今年も JETRO や商工会関係の欧州事業に参加させて頂きながら、単にお茶を売るだけでなく、お茶を通じて広がる人間関係や歴史(ストーリー)、異文化との関係性を日々考えます。
日本文学の講義で学んだことを職場である学校現場で授業中に話したり、教材研究に活かしている。また、教育学の講義で学んだことをもとにさらに学び続けて生徒指導に活かしている。
入社してから、専門的な知識を身につける機会が多いですが、それが苦とならずむしろ楽しめています。それは本学で専門的な分野を学べた経験があるからかと思います。
博士学位取得さらに、研究を続けることが、その後の生涯の指標となっている。
比較文化副専攻を取得したが、ニュースを見る時や人と世間話をする時に役立っている。また、問題を解決しようとした時に多角的な視点で考えられるようになったのは強みだと思う。
普通に過ごしていく中ではあまり関わりがなかったり当事者でない内容にも積極的に興味を持つことができ、あまり偏見を持たずにいろいろな視点から学ぶことができる。また調べていくと今までの授業などで知ることのできた何かしらの知識とのつながりが見出せる。
幅広い世代の人と仕事をする上で、コミュニケーションに困らない。興味関心の幅を広げられたと思ってます。
幅広い知識を身につけられたことで、上司や同僚から褒められることがあります。
幅広い知識を得ることができたので社会人になって多くの人と関わる中で相手に合わせたコミュニケーションが取れる。
幅広い分野の授業を受けることができたので、卒業後も興味のある分野が多い。ニュースなどを見ても理解できる内容が多い。また自専攻での学びによって得た洞察力は、いまの情報社会において情報に流されすぎないために必要な力だと思う。
幅広い分野の知識や多面的な視点で物事を捉え考える力は、日常生活あるいはビジネスにおいて、あらゆる問題への解決策や案の創出に役立っている。
幅広い話題に興味関心を持っている人として認識していただけることで、多くの人と円滑なコミュニケーションをとることができる。
物事の本質を捉え、何事も多方面からの知識で考えることができているように感じる。
物事を客観的に見る能力、学び続ける持久力は活かされていると思います。

<p>物事を多角的に考えることは習慣化することができ、社会人になってからも活かしていると思います。</p> <p>また、ゼミ等参加型の授業や大学の寮に入寮していたことにより協調性も培ってきたと思っており、複数人と仕事するにあたってその能力が活かしていると思います。</p>
<p>物事を論理的に批判的に見る姿勢や物事を多角的にみる力は、様々な人がいるチームで働くなかで活かされた。</p>
<p>文系ではあったものの情報デザインに興味を持っていたため、他の教養学科を学びつつ IT の知識を少し専門的に学ぶことで IT の知識は現在の仕事、その他の知識は旅行や読書などの趣味に活かしており充実した毎日を過ごせていると感じています。</p>
<p>偏った思考に陥りにくい。</p>
<p>民間企業から国立研究開発法人まで、幅広い業務を経験している。</p>
<p>目先の流行や利益に惑わされない自分なりの判断能力が身に付いた。</p>
<p>様々な視点から物事を見ることができる。</p>
<p>様々な物事についてある程度の知識の土台があるので、基本的なことは理解出来る。</p>
<p>様々な分野に興味を持ち、その時点から知識をつけていく、人生単位で教養を増やす意欲がついた。</p>
<p>様々な分野に触れられたのは、良い機会だったと思っています。就く仕事によって活かされることは限られますが、日常に触れるものについて大学時代の学びを思い出したり、会話の引き出しになったり、教養をもつことの大切さを思い知る場面があります。</p>

## ②否定的 (n=10)

<p>あまりリベラルアーツ教育を受けたという実感を持っていないため、活かしている実感がありません。</p>
<p>あまり感じない。特に理系は他大に比べ専門性が低すぎると感じる。特に理学は高校レベルなのでもう少し専門的に学びたかった。</p>
<p>学校での学習はあまり役に立たなかったので生かされていない。</p>
<p>学生時代に専門性を身につける必要はないと思いました。学生時代から、就職する職種を絞っているなら大事なことです、それが決まっていない生徒たちには無意味だと思いました。</p>
<p>活かされていないと思う。</p>
<p>自分が生まれてから高校卒業までの間の経験が社会人生活で最も活きていると感じるので、大学で受けた教育による恩恵はまだ感じていない。</p>
<p>専門性に関しては自信がありません。(申し訳ないのですが、これは仕事や付き合いの仲間に専門性が高く教養がある人が多いという環境ゆえかと思います)</p>
<p>専門性を身につけられなかったと感じている</p>
<p>専門的知識はさほど就職してから活かしていないような気がする</p>
<p>大学生時代遊びすぎてしまい、学業そっちのけだった気がします。</p>

### ③肯定的+否定的 (n=2)

専門性を直接生かす仕事には付いていない。しかし、受講した講義の担当教員やクラスメートとの出会いによって自分の価値観や進みたい道が決まったように思う。

幅広い分野を少しずつ学べたことは、社会人として働く上で人との会話をする上で役に立ちますし、もっと学ぶべきでした。

また、社会人として働く上で経済面（株や為替、会社のお金の動きなど）の知識を身につけるべきだったと思っています。

### ④その他 (n=7)

地元のマスメディア等にとりあげられております。

特になし (n=6)

## 知識・能力・スキル

「本学での卒業までの学びを通して身につけた知識・能力・スキルのうち、特に社会で役立っているものがあれば教えてください。」の設問に対する自由記述を、「知識」「能力」「スキル」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。1つの記述に複数のカテゴリが入っている場合、該当箇所分割して記載している。

### ①知識 (n=30)

キリスト教に関する知識を得たことで、芸術作品に対し理論的に考察することができるようになりました。
キリスト教学。(n=2)
ジェンダー、男性学、授業名は忘れてしまいましたが保健体育のような自分の身体を女性自身で守れるようにする方法など 汎用的な知識が一番役立っている気がしています。
ジェンダー。
一般教養など、今の仕事にも役立っております。
英文科で学んだ専門性。
学部が1つなので、興味のある分野の学びを得ることができてよかったです。
教育関係の仕事をしているので、教職課程で学んだことが役立っています。
教養科目で学んだ心理学や子ども関係の内容が実際の生活で役に立っていると思います。
教養学部として幅広く学んだことで、どの分野の方ともコミュニケーションを取るきっかけになる。
国際情勢の知識。
在学中に幅広い分野について学べたため、あらゆる分野に興味関心を示し、取り組むことができている(能力やスキルと言えるかわからないが)。
史学専攻だったのもあり、歴史の授業でさらに深い学びを得られる授業作りに役立っています。
宗教的価値観。社会に出ると宗教に触れることがタブー視されるなか、授業の一環で学ぶことができたのは人生において大きな教養になった。
女性の社会進出についての知識。
女性学で学んだ SDGS について。
女性学を通じた、女性のキャリア形成。
心理学ではデータ収集のため何度か面接をしていましたが、現在の営業マーケティング職に役立っています。顧客を数人集めてグループインタビューを行うことがあり、面接の経験を活かすことができました。
製造、流通、小売りといった経済の仕組み。
専攻だけではない単位を取得できたことは、物事の考え方を広げるにあたり有意義でした。
知識→好きなことをとことん学べたことにより、会社の人とコミュニケーションをとるきっかけになった。
地域文化、国際関係論。

特に情報系の授業を通じて、システムの基礎を学習することができ、会社でのシステム設計や保守対応の際に比較的理解が早く、メイン担当を任されることが多くある。
日本語教員養成課程で学んだことを生かして、これから日本語教室を開設しようとしています。また、当時学んだことは、これまでの社会人経験のなかで幾度となく思い出して、これだ！と思うことがすることが多々ありました。
美術作品に対する歴史の教養(西洋美術論を受講)。
簿記、会社法など会社の基礎知識。
本学が力を入れているジェンダーについて深く学んだことはキャリア形成やライフプランニングに大いに役立っています。
理系の知識。

## ②能力 (n=86)

問題や課題点への取り組み方(情報収集の仕方など)が特に役立っていると思います。
情報を収集し、それを多角的に検討した上で課題を発見・解決する、または結論づける能力。
文学の読解や文献収集していたことが、現在は仕事において状況や問題を把握、検証すること、また接客において顧客のニーズを推しはかるのに役立っているように思う。
与えられた情報から物事を判断する力。
参考文献を探す際はさまざまな方法を使う。
情報をいかに効率的に整理するかはどの職業でも役立つ力で、大学でのレポート作成やプレゼンテーション準備で養われたと感じています。
情報収集能力。
情報収集能力。一つの課題に対して、関係のありそうな文献をひとつの分野にしぼらず多くの資料を集めて自分なりに考えるということは習慣化されていると思います。
先行研究や参考文献を適切に引用するといった情報を適切に扱う意識。
卒論を作成する際、自ら、答えにむけてあらゆる情報収集する経験ができて良かった。
必要な情報を効率よく収集できる。
目的の達成に向けて必要となる情報を自ら選択・収集し、活用できる力。
目的の達成に向けて必要と思われる情報を、自ら選択・収集し、適切に活用していく力。
【情報収集能力】 卒業論文を通し、一つの意見に固執せず信用性のある情報を複数集めた上で検討する力を身につけました。 営業として顧客へプレゼンする際、非常に役立っております。
物事を多角的に見る力、文献の信頼性の検討や綴り手の思惑や背景を考察して能動的に情報を読み取る力、宗教の文化的理解。
情報収集能力。責任感。
・情報収集力、処理能力。 ・主体的、能動的な行動力。 ・多文化や価値観への理解。
1つの問題や事案に対して多面的に考える力。

2019年からイギリス・ロンドンの現地企業で働いていますが、日本を飛び出して海外で働くという選択肢が生まれたのは、東京女子大のおかげだと考えています。自立した女性として、多国籍な文化の国で働くというのは苦労もありますが、物事を多角的にとらえる勉学ができたからこそ、国際的に働くことができています。
ゼミ活動のおかげで物事を多角的に見られたこと。
古典を多面的多角的に分析して考察する力を身に付けられたと感じています。
社会心理学の授業で学んだ、物事を多角的にとらえる姿勢。
職場では日本人だけでなく外国人と共に仕事をするが、多角面から考えること学んだことで、意見が対立した際に否定するのではなく、まずは耳を傾けて問題解決をするようになった。
心理学の多面的に考えたり、本質を捉える議論をした経験のおかげで、複数の視点で物事を考える癖がついた。
卒業研究を通した多角的な考え方、捉え方。
多角的な視点については身についたと感じる。
多角的に物事を見、本質を捉える能力。
多角的に物事を見る姿勢。
多面的に物事を捉える力が問題解決時に役立っています。
人の行動や社会状況などを心理学的な知識も使いながら多角的に考えることができる。
情報を鵜呑みにせず批判的に捉えて思考する。
客観的な視点と、社会に対する責任感。
多角的思考力。自主性。積極性。
社会的な見方。第三者的な視点を常に持ち、考え方に取り入れて取り組む能力。自身が、より偏見的な意識を持って行動していないか、中立的な立場も視野に入れることができるか、といった本校で学んだ考え方の物差しが今も大変活かされている。
講義において、答えが一つでないと教わったこと。
期限内に課題を提出すること。（できないと単位を落とすことも含めて）
クリティカルシンキング。
批判的になる。
データの分析。
研究や統計に関する知識。
数値データを読み解く力。
統計スキル。
統計学、アンケート等で数値を集めそこから見える事から物事を考える力。
統計学の知識が役に立っています。
自分を律して勉強する意識。
VERA 祭実行委員会に所属しており、自分の企画を持ち、最後までやり切った経験から、責任感や実行力は身についたと思います。

人の輪の中でリーダーシップをはかること。
また、仕事のチームには先輩含め様々な年次のメンバーがいますが、中堅社員として主体性を持って動くことを心がけています。
一言で表すのであれば、自立心なのかと思う。 どの授業でと特定するのは難しいが、4年間の学生生活の中で、自分のやりたいこと、好きなことに向かって、自分の信じたやり方で、自分にできる努力を自分なりにする。 周りの友人にはそのような根が真面目なタイプが多かったように記憶しており、環境に助けられつつ、自立して考えて行動するという社会人の根幹は、大学生活を通じて作られたと感じている。 また、女子大でフェミニズム関連の授業もあったからこそ、女性としての自立心も学んだように思う。女性だから、男性だからという目線で考えず、男性と平等に対等に協同していきたいという思いからの自立心も 養われたように感じる。
何事にもまずは挑戦してみる力。
何事にも挑戦する気持ち。
今や今後自分が何をすべきかを常に考えることができる。
在学中の様々な場面で活躍している女性たち(先生方、先輩方や学友など)を見て、女性だからといって一歩下がることはなく、様々な場面で積極的に前に出て発言・行動することができていることです。
自ら自主的に考え働くことができている。
自立した女性として生きていくのだという教養は、入社後まもない頃自分を奮い立たせていたとおもいます。
主体性。(n=2)
主体的に取り組む力。
女性として社会で自立して働いていく意欲。
性別にとらわれずに、与えられた役割を能動的に果たすことができる。一人の自立した人間になるための学習を大人になっても続けることができている。
積極性。
卒業後主体的に動ける。
在学中は、自ら学ぼうとする学生が多く、とても良い影響を受けた。また勉学とプライベートの両立が出来ている学生が多く、自立した姿勢に憧れを抱き、自分でもそのような人になろうと努力し、今の自分の価値観があると思える。
一年生の頃からゼミに所属しチームまたは個人で専門的テーマを学ぼうとするところ。
具体的に挙げるのは難しいですが、物事の中身を積極的に知ろうとする、世の中の動きをみる、それを受けて自分に立ち返り、なすべきことを考えるなどの姿勢は大学時代に培い、今に活かされていると思います。
未知の専門的知識にも学ぼうとする姿勢。

自分で追求したいと思ったことに粘り強く取り組める。
多様性を受ける姿勢。自ら学び続ける姿勢。
やり抜く力。
課題を最後までやり通すことは、特に3年生の時から卒業論文に時間をかけて取り組み向き合ってきた経験が活かされています。
最後まで粘り強く課題に向き合う姿勢。
課題や授業の参加など、与えられたことに対して、計画的に取り組む力、やり切る力を学んだ経験を活かし、ハードワークを厭わず取り組んでいる。
いろんな家庭環境で育った人がいていろんな価値観を持つ人に出会えたと思う。
ジェンダーに関するゼミに所属していたため、男女の役割については社会に出てから客観的に見ることができ、他の方が「あたりまえ」と思っていることも疑問に思い、考える力が身についていると思います。
ジェンダーレスといった性の多様化や女性の社会進出に関する知識は、「当たり前を疑う」という観点でとても役に立ったし、女子大だからこそ学べた内容があったと思っています。
ジェンダーを学んだことにより、公平な視点で物事を判断力。
ダイバーシティの理解。
また、女子大ならではの女性学を学ぶことでLGBT等に関する問題にも関心を持てた点。
意見の異なる人との接し方、様々なバックグラウンドの人との関わり方。
国籍や年代等関係なく、色々なバックボーンを持つ方々と接することができるスキル。
今の時代「多様性」や「個性」の尊重がとても大切な価値観であるが、英文学などを通してあらゆる人々の視点を学んだおかげで、「常識」という考え方が変わり、色々なことを受け入れやすくなった。他人に対する共感力や理解力があがり、学びが活かされていると思う。
仕事で海外の取引先(アメリカ、台湾、韓国など)と話ややり取りをする際、相手の歴史や文化、言語について少しでも知識があるので役に立っている。
専攻の社会学を学んだ事で、人や事象に対して、柔軟な捉え方が出来るようになった。そのため、自分の考え方の幅が広がった。また働く中で、様々な価値観を持つ人に会おうが、そんな方にも理解を示せるようになった。
他文化理解。
多文化共生の考え方や知識。
多様性を享受できる、とりわけダイバーシティへの理解とインクルーシブな行動ができることを利点と感じている。多様化が進む現場において、今まで以上にコミュニケーション能力が重要であり、部署・組織の壁を越えた提携や連携が頻繁に行われる。企業の中でも多様化した社員・関係者の異なる視点・文化・考え方を受け入れ、協力し合うことが必須となり、そこへの対応が本学卒業生の強みだと感じる
物事をグローバルな視点で俯瞰して見る力。
様々な意見を受け入れる事。

1人の女性として、ワークとライフのキャリアを柔軟に考えていくスキル。

### ③スキル (n=92)

史学を専攻したので職場で役立っているかどうかは微妙だが、社会に出ると、文字資料を読み解く力はかなりある方だと思った。意外にメールであっても、文章を読んでいない人は多いです。

また資料から自分の必要な情報を読み取り、要約して相手に伝える力。

一つのテーマを粘り強く調べてレポートを作成し、人に伝わるよう工夫して発表したことは、ジャンルが異なっても会社の業務で役立っていると思います。

資料を読み解くスキルや議論を行うスキル。

ゼミで様々な文献を読み、論文を沢山書いてきたので、難しい文章を読みとる力や、文章の書き方などが活かされていると思います。

文章作成能力、読解能力。

コミュニケーション能力、論文の読解、構成する力。

得た知識をまとめる力が役立っています。

表面だけではなかなかわからない、物事の本質的な部分を捉えたり考えたりする思考が身についたこと。

物事を関連づける力、概念化する力。

プレゼンテーションスキル。

プレゼン能力。

プレゼン能力。人に説明する能力。

プレゼンテーション能力。ディスカッションスキル。

英語で論文を書く力、論理的に考える力は、仕事で様々な情報を集めたりそれをもとにプレゼン資料をまとめる際に役立っていると感じる。

キャリア・イングリッシュのプレゼンの授業。

プレゼンテーションや資料作成のスキル。

パソコンに関するスキル、卒業論文のプレゼンテーション作成および発表(社内でのプレゼンテーション作成及び発表で大変役立った)。

ゼミにおいて、根拠を積み重ねて自分の考えを述べること。

仮定を立証していく力。

自分の意見を自分の言葉で述べるディスカッション力。(ゼミで鍛えられました)

人前で話すのは今でも苦手ではありますが、プレゼンテーションの授業などを通じて、順序立てて物事を説明する上での基礎を身につけられたように感じます。

卒業論文を作成したことで、1つのことを突き詰め、自ら提示した論点を論理的に解決する力が身についた。

体系立てて物事を伝える力。

米文学ゼミを通して、文学が執筆された背景(歴史的観点、時代設定や環境など)から、どのような状況であったかを類推し、エビデンスを複数用い立証するという一連のプロセスや観察眼。

論理的に物事を考える力を身に付けられたと感じています。
文章で論理的にまとめる力。
自分で考える力や周囲と協力する力です。
人の意見をまず聴く力が身に付いた気がします。会議等で相手との意見が食い違う場面では雰囲気気を崩さず冷静に話し合うことができていると思います。
相手のことを思いやりつつも、周囲の人に臆さず意見を伝えること。
大学時代に討論や発表で自身の意見を伝える場があったので、今も仕事で役立っている。正しいことを正しいと言える力もつき、人を説得する際の言葉の選び方も上手くなった。
能力→ゼミでのディスカッションの経験から自分の意見を臆することなく発言できる。 スキル→相手に理解してもらえようような説明の仕方を教職課程で学びましたが、後輩育成の場で役立っている。
論理的に話す力、国籍問わず誰とでも親しく接することができる力が役立っていると感じています。
仕事とプライベートのどちらにおいても、正しい日本語を使うよう気をつけています。
身につけた日本語力、日本語教育力を生かして、社内ですすが外国人への日本語教育や校正校閲業務に携わっています。
卒業論文や研究レポートで文章を書くことが多かったからか、上司から文章や日本語がしっかりしていると褒められる。
日本語の言葉遣いが実際の生活で役に立っていると思います。
日本語能力など。
日本語力。
文書作成能力。
文章力。
論文作成。
PCのスキル。ゼミでのレジюме作成やパワーポイント。レポートも多かったので、文章を書く・作成に困りません。
敬語や他人を敬い支え合う考え方はチームで活動する仕事場において役立った。
資料作成スキルは社会人1年目からすぐに役立ちました。
当時キャリア・イングリッシュ課程を修了したが、その課程を通じて学んだ事が、学校現場で時間講師をする中で、英語力を付けることの大切さや、英語を通じたコミュニケーションや重要性を児童・生徒に伝えることや、日本語での会話を苦手とするALTと、英語の専門ではない他の教職員との間の話し合いに当たり、表やレジюмеを分かりやすいように作成し、双方にきちんと意思が伝わるよう工夫を行うことが出来ているように思う。
プレゼン資料を作成するスキル。
分かりやすくグラフ表等でまとめる力。
Microsoft Officeの活用。

Word。
パワポ、エクセル。
卒業後では特に PC スキルが役に立っています。
本学で学んだプログラミングの基礎やネットワーク技術などは、まさに今の仕事に直結しています。
人間科学科コミュニケーション専攻だったので必須のコンピューターリテラシーの授業で学んだ Excel などの PC 操作の知識は非常に役に立っています。
Excel が全く使えない状態で入社する後輩もいたので、学生時代に学べてよかったです。
英語力、IT パスポート。
Excel スキル。
コミュニケーションスキル。
コミュニケーション基礎。
コミュニケーション能力、聞く能力。
コミュニケーション能力。(n=2)
ゼミメンバーとのチームワークやコミュニケーションを深められたことが良かったと思います。
解決困難な問題に直面した時、一人で抱え込まず、他者に相談することで解決することができる。
在学中の学びからコミュニケーションスキルが役立っていると感じます。世代を問わず関係を構築することができると感じます。
自分で考えながらも周りとも協力しながら一つの形を作り上げるスキルは、特に3年生の時から卒業論文に時間をかけて取り組み向き合ってきた経験が活かされています。
主体的に事業を進めることができるように、外部との調整能力は非常に高まったと思います。
周囲への働きかけ。
少人数でのゼミでの経験は、仕事上、チームで動くことが多いため役立っています。
上級生との演習の授業と、卒論を書いたことがとても良かった。年上の人と議論する経験や、一つのことを突き詰めて考え成果物を作り上げる経験は、社会に出てから仕事のクオリティを上げていると思う。
色んな人との会話がうまくできる。
人とのコミュニケーション能力
人と協力して、一つのことを成し遂げていくためのコミュニケーション能力
専門家になるために必要があって大学院に進学したため、大学院で学んだことすべてが働くうえで支えとなっている。
特に他者と議論を交わし、円滑にチームで働けるようコミュニケーションを行う点が最も役立っているし、必要な部分だと思っている。
組織に対応する力。
対人スキル。

対人でのコミュニケーション能力
キャリア・イングリッシュでの学びは卒業後、外国人への対応に活かすことができました。
キャリア・イングリッシュ課程の英語教養。
ネイティブ教員による、英語の Writing や Discussion の授業で、英語を使うことだけを目的とせず、英語を使って自分の意見を伝える練習をした。現在仕事でネイティブの人と意見を出し合う機会があるが、自分の考えを英語だとどう表現できるか考える癖を授業でつけられたことが、役に立っている。
英語。 (n=3)
英語コミュニケーション能力(留学生対応業務にて)
英語を用いた海外の方との積極的なコミュニケーション能力が発揮できていると感じています。
英語力。 (n=4)
留学で身につけた英語力、他文化交流の際のコミュニケーションにおいて留意すべき点等気付くことができた。
語学力。 (n=2)
語学力が役立っています。語学力は、突発な場面で必要になることもあるので、大学のうちに自信をつけておくのは大事だと感じます。

#### ④その他 (n=15)

既に社会人(司書)として定年まで勤務したので、逆に、情報収集能力、パソコン検索、広い分野の資料知識などが、学位取得までの研究過程にとっても役にたった。
専門職としてのスタンス。
素直な人間性。
大学での学びに対し、社会で役に立つかなどは特段意識されない方がよろしいかと思います。純粹に学びを優先させるべきと思います。
東京女子大学の真面目で直向きな校風は様々な場面で求められる性質であり、役に立っている。
同じ会社に東女の卒業生が複数在籍しているが、総じて真面目な姿勢が評価されていると感じる。
日本語教育の課程で知り合った友達とは卒業後 10 年経っても連絡を取り合い仲良くしている。
特になし (n=8)

## 5. 卒業後の状況

卒業後の進路・就職先などについて尋ねた結果を図15～図20に示す。卒業後は、約9割が就職し、そのうち3割近くが転職もしくは退職を選択した。その理由は、1番が「職場とのミスマッチ」、次に「キャリア・アップのため」だった。現在の就業形態を尋ねた所、約5割「正社員（総合職）」、次に「正社員（一般職）」、3番目が「正社員（専門職）」だった。

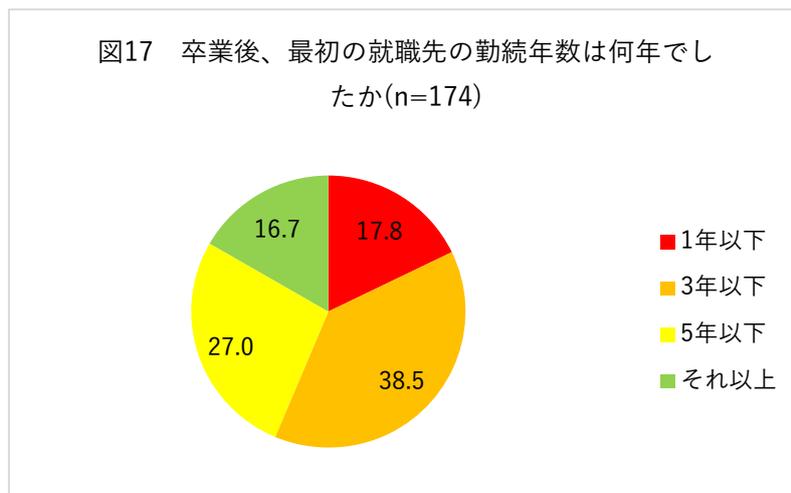
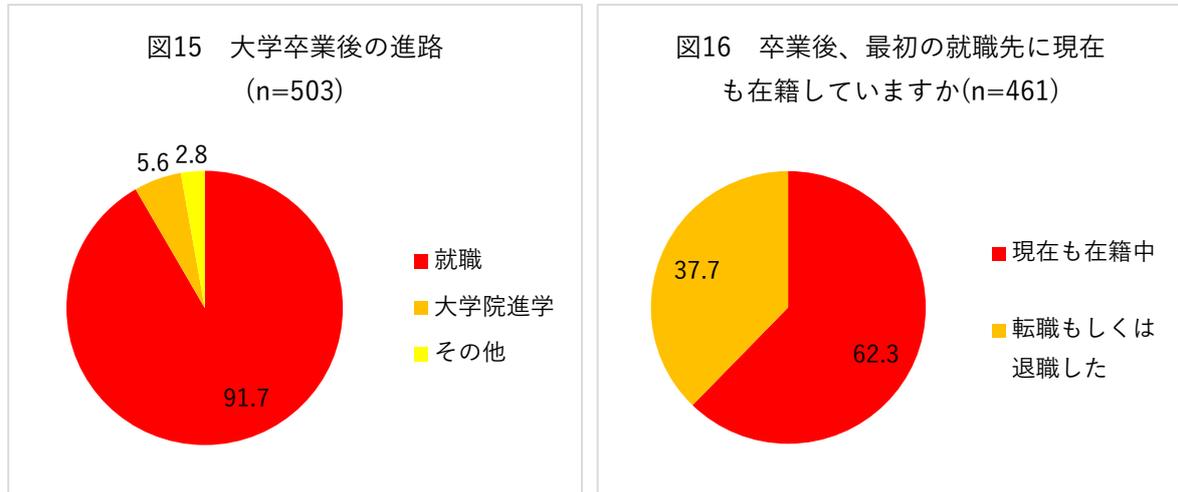


図18 就職先を転職・退職した理由(n=174) 複数回答可

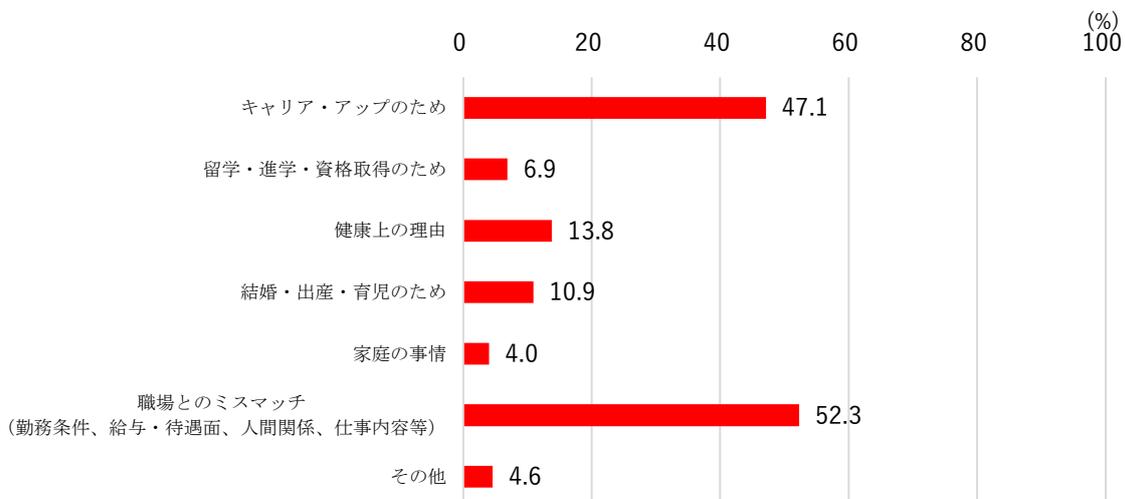


図19 現在、あなたは仕事に就いていますか  
(n=217)

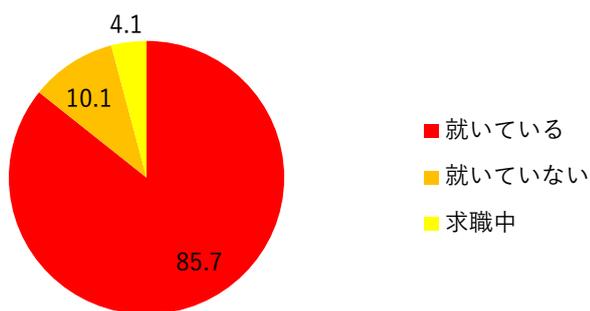
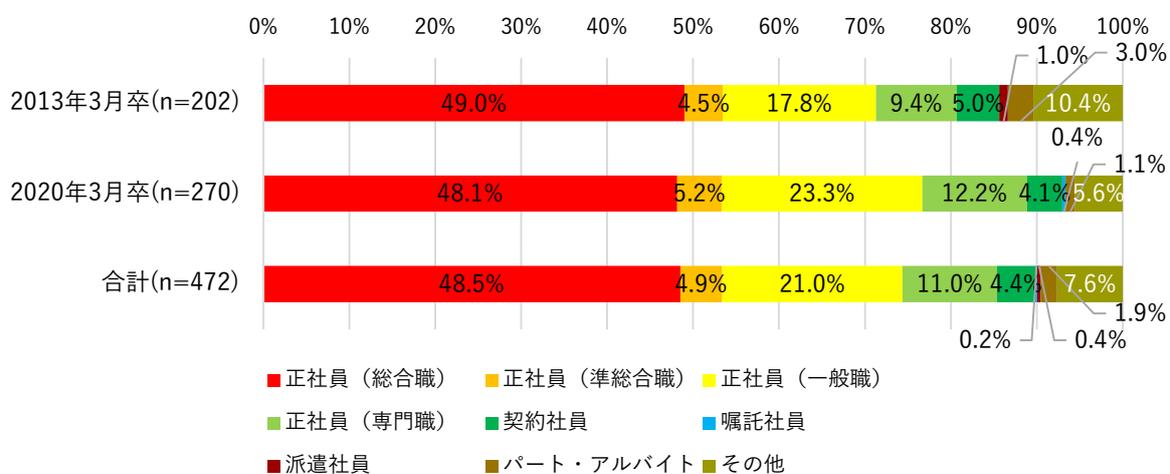


図13 現在の就業形態に当てはまるもの



### 「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

- ・ 公務員（地方公務員、教員、中学校教員、時間講師）
- ・ 教員
- ・ 団体職員
- ・ 海外勤務
- ・ 個人事業主、フリーランス
- ・ ダブルワーク、トリプルワーク
- ・ 芸能事務所所属

など